佛教神奈川

神奈川県仏教会　神奈川県釈尊奉賛会
横浜市中区大平町96（西有寺内）電話　045（661）0166

第　80　号

【本号の主な内容】

○総会報告　２面
○決算報告・予算　３面
○地区仏教会だより　４面～９面
○事業報告　10～11面
○賛助寺院芳名録　12面
○役員名簿　12面

ご挨拶

横浜市中区　大圓寺　住職
神奈川県仏教会　会長　佐藤　功岳



今年も暑い夏になりました。県下諸大徳におかれましては大禍なくお過ごしのことと拝察いたします。

前期に続き神奈川県仏教会の会長に就任いたしました佐藤功岳でございます。

さて、今年は米国でトランプ氏が大統領に就任し、世界各国へ関税を課し大混乱となっております。

国内では自民党が衆議院に続き参議院でも少数与党となり、また混迷の始まりかと懸念いたします。

本会は副会長の菅原師が留任し、井沢師・河本師・高作師が任期満了で退任され、小田原の阿川文叡師（浄土宗）横浜の山本昭弘師（高野山真言宗）寒川の鈴木嘉昭師（日蓮宗）が新たに就任されました。また長年コンプライアンスを重視して監事職をお勤めいただいた友繁照純師がご退任となられ、川崎の宮山光男師にご就任頂きました。これからの本会発展にご尽力をお願い致しました。

昨年事業をお休み致しました「一日史跡行脚」は静岡の日蓮宗本山「実相寺」様に参拝することとなりました。こちらは、日蓮聖人が立正安国論の草案をしたためられたところで一切経を奉安しております。どうぞ振るってのご参加をお待ち致します。

さらに、十一月十二日には川崎大師様の会場をお借りして釈尊成道会を開催致します。

今年は「法話グランプリ」と銘打って各宗の法話を各十分程度御披瀝願い、弁舌を競って頂きたく企画しております。

当日は、常務理事会もございますが、各理事におかれましても是非ご出席頂き仏法興隆にお力添えをお願い致します。

加えて本年十一月二十五日には神奈川県仏教青年会の創立五十周年記念式典が、みなとみらいの横浜ベイホテル東急で開催されるとのことです。

小生も所属致しておりますが、早くも五十周年となり感慨深いものがあります。

ご盛会をお祈りいたします。

また、神奈川県寺院教会相互援助組合は解散することに総会で決定されました。解散処理にはかなりな労力が想定されますが丁寧に進めて参ります。

今期も神奈川県仏教会の更なる発展のため、全力を傾注して参りますので、諸大徳のご支援・ご協力をお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

合掌

■神奈川県仏教会 宗教法人講習会■

「これからの葬儀のかたち・数値で見る葬儀の実態」開催

井出 悦郎 氏が葬儀の現状と「あの世観」の変化を分析、未来への提言



井出 悦郎氏

令和七年六月二十七日、西有寺にて神奈川県仏教会総会が行われ、その終了後に寺院経営コンサルタントとして全国の寺院を支援する「(一社) お寺の未来」代表の井出悦郎氏を講師に迎え、「これからの葬儀のかたち・数値で見る葬儀の実態」と題し宗教法人講習会を開催しました。同氏は最新の調査データに基づき、現代社会における葬儀や寺院を取り巻く状況を分析し、今後の寺院運営における課題と展望を提示しました。

井出氏が提示した全国一万人規模の追跡調査データからは、葬儀に対する人々の意識が明らかに変化していることが指摘されました。コロナ禍を経て、葬儀の小規模化が進み、葬儀そのものの必要性は広く認識されているものの、その中で宗教性を重視する割合は約三分の一に留まっています。これは、日本の葬儀の大部分が仏式で行われている背景には、社会慣習としての側面が強く影響していることを示唆しています。

故人の意向と費用が葬儀で重視される傾向が強まる中、従来の伝統的な形式や慣習の優先順位は低下しており、特に女性層においては、仏式を希望しつつも具体的な形を決めきれないという傾向が見られ、寺院側にはより柔軟な対応と提案が求められると指摘されました。

また、「あの世を信じるか」という意識調査の結果も注目に値します。かつては若年層ほど「あの世を信じない」傾向にありましたが、現在の調査では年配層ほどその意識が低いという逆転現象が観測されました。井出氏は、高度経済成長期を経て物質的豊かさを経験した世代と、その後の社会を生きる世代との間で、価値観に差異が生じている可能性を指摘。寺院には、特定の世代に焦点を絞りすぎず、若い世代へのアプローチを強化する必要があるとの見解を示しました。

さらに、国による在宅医療推進などの政策動向が、人々の「看取りの場」を病院から地域へと回帰させている現状に言及。これにより、寺院は地域における終活支援の役割を担う機会が増加するとし、その一例として「お寺葬」への取り組みが挙げられました。お寺葬は、少人数化する現代の葬儀形態に適応しやすく、住職による一貫したサポートが可能である点が利点とされました。



講演の終盤では、生前の準備と家族間での対話の重要性が強調され、井出氏はお盆など家族が集まる機会を捉え、寺院が積極的に檀信徒に対して葬儀や戒名に関する話し合いを促すよう提言。家族間で意識の共有がなされていないことが、故人の意図に沿わない葬儀に繋がるケースがあるとの懸念を示しました。

今後の寺院運営に向けて、井出氏は以下の点を挙げました。

情報伝達経路の多角化（メルマガや LINE 等）、専門用語に頼らない生活者視点での仏教の教えの伝達、各寺院の独自性の明確化、現代に即したお参り習慣の再構築、個別対応力の強化、そして小規模な試行錯誤（スモールスタート）の繰り返しによる柔軟な対応。特に、テクノロジーでは代替できない「関係性の価値」の構築に注力すべきであるとの考えを示し、寺院が日本社会において果たしてきた役割の重要性を再認識させるとともに、未来に向けての積極的な取り組みの必要性を訴えました。

YouTube にて講演を視聴いただけます

令和６年度一般会計決算報告書

自　令和６年４月１日　至　令和７年３月31日

【収入の部】　（単位：円）

勘定科目・項目	令和6年度予算	令和6年度決算	備　考
1.会費収入	5,202,000	3,410,000	
一般会費	2,758,000	2,230,000	35仏教会(総数41)
一般会費(過年度未納分)	1,014,000	0	0仏教会(総数4)
特別会費	1,430,000	1,180,000	45ケ寺(総数57)
2.事業収入	130,000	206,000	
成道会収入	100,000	146,000	参加費(1,000円×36人)+賀儀
史跡行脚収入	0	0	R6年度開催無し
講習会収入	30,000	60,000	参加費(1,000円×60人)
3.資産収入	0	0	
預金利息	0	0	当座預金につき利息なし
4.寄付金	1,000	0	
寄付金	1,000	0	-
5.雑収入	800,000	374,400	
雑収入	800,000	374,400	総持寺・懇親会参加費・総会等賀儀・賀詞交歓会繰出
①当期収入合計	6,133,000	3,990,400	

【支出の部】

勘定科目・項目	令和6年度予算	令和6年度決算	備　考
1.人件費	430,000	430,000	
局員手当	370,000	370,000	10万×1(事務局長) 5万×5(事務局員) 2万×1(事務員)
弁護士報酬	60,000	60,000	顧問料
2.運営費	1,930,000	1,139,180	
事務所費	200,000	200,000	西有寺事務所費
消耗品費	30,000	1,090	事務用品等
通信費	800,000	513,410	機関誌・各案内等発送費
慶弔費	120,000	60,000	金沢区仏教会・総持寺
表彰費	50,000	0	
印刷費	200,000	226,680	各案内・封筒等印刷費
広告費	530,000	138,000	全日本仏教会・中外日報社・仏教タイムス社 WEBサイト制作・管理料
3.維持費	1,890,000	1,640,000	
負担費	1,110,000	1,160,000	全日本仏教会（91万） 神奈川県宗教連盟(25万)
援助費	250,000	250,000	神奈川県仏教青年会助成金
渉外費	300,000	0	外部会議費等
交通費	230,000	230,000	役員交通費
4.事業費	900,000	332,090	
成道会支出	500,000	117,650	会場費・講師御礼等
史跡行脚支出	0	0	R6年度開催無し
講演会	0	0	R6年度開催無し
講習会	200,000	60,000	講師御礼等
仏教神奈川	200,000	154,440	機関誌印刷費
仏事継承委員会	50,000	0	仏事継承委員会
5.会議費	400,000	271,336	
総会費	50,000	27,600	総会会場費等
諸会議費	350,000	243,736	理事会会場費・懇親会費・その他ミーティング費
6.雑費	200,000	49,042	
雑費	200,000	49,042	銀行手数料・飲物代等
7.積立金	0	0	
積立金	0	0	R6年度より廃止
8.予備費	383,000	0	
予備費	383,000	0	神奈川県宗教連盟(5万円)
②当期支出合計	6,133,000	3,861,648	
③当期収支差額(①−②)	0	128,752	
④前期繰越金	1,698,240	1,698,240	
⑤次期繰越金(③+④)	1,698,240	1,826,992	

令和７年度　一般会計予算書

自　令和７年４月１日　至　令和８年３月31日

【収入の部】　（単位：円）

勘定科目・項目	令和6年度予算	令和7年度予算	備　考
1.会費収入	5,202,000	5,294,000	
一般会費	2,758,000	2,758,000	41仏教会1,386ヶ寺
一般会費(過年度未納分)	1,014,000	1,106,000	西区3年分162,000/南港南1年分88,000 衣笠2年分48,000/北郷2年分64,000 鎌倉1年分214,000/小田原川東1年分 110,000/海老名7年分420,000
特別会費	1,430,000	1,430,000	57ヶ寺
2.事業収入	130,000	510,000	
成道会収入	100,000	150,000	参加費(1,000円×人数)+賀儀
史跡行脚収入	0	300,000	
講習会	30,000	60,000	参加費
3.資産収入	0	0	
預金利息	0	0	当座預金につき利息なし
4.寄付金	1,000	1,000	
寄付金	1,000	1,000	
5.雑収入	800,000	800,000	
雑収入	800,000	800,000	総会・理事会賀儀/賀詞交換会繰出金 寺院援助組合繰戻金(50万)
①当期収入合計	6,133,000	6,605,000	

【支出の部】

勘定科目・項目	令和6年度予算	令和7年度予算	備　考
1.人件費	430,000	430,000	
局員手当	370,000	370,000	10万×1(事務局長) 5万×5(事務局員) 2万×1(事務員)
弁護士報酬	60,000	60,000	顧問料
2.運営費	1,930,000	1,730,000	
事務所費	200,000	200,000	西有寺事務所費
消耗品費	30,000	30,000	事務用品等
通信費	800,000	600,000	機関誌・各案内等発送費
慶弔費	120,000	120,000	
表彰費	50,000	50,000	
印刷費	200,000	200,000	各案内・封筒等印刷費
広告費	530,000	530,000	全日本仏教会・中外日報社・仏教タイムス社×2回・ 全国青少年教化協議会×1回 WEBサイト制作・管理料
3.維持費	1,890,000	2,103,750	
負担金	1,110,000	1,023,750	全日本仏教会(91万)70周年協力金(113,750)
援助費	250,000	550,000	神奈川県仏教青年会助成金(25万円) 50周年助成金(30万円)*
渉外費	300,000	300,000	外部会議費等
交通費	230,000	230,000	役員交通費
4.事業費	900,000	1,200,000	
成道会支出	500,000	300,000	会場費・講師御礼等
史跡行脚	0	500,000	
講演会	0	0	
講習会	200,000	200,000	講師御礼等
仏教神奈川	200,000	200,000	機関誌印刷費
仏事継承委員会	50,000	50,000	仏事継承委員会
5.会議費	400,000	400,000	
総会費	50,000	100,000	総会会場費(西有寺)・懇親会費
諸会議費	350,000	300,000	理事会会場費・その他ミーティング費
6.雑費	200,000	200,000	
雑費	200,000	200,000	銀行手数料等
7.積立金	0	0	
積立金	0	0	R6年度より削除
8.予備費	383,000	541,250	
予備費	383,000	541,250	
②当期支出合計	6,133,000	6,605,000	
③当期収支差額(①−②)	0	0	
④前期繰越金	1,698,240	2,278,992	
⑤次期繰越金(③+④)	1,698,240	2,278,992	

地区仏教会だより

【平塚市仏教会】

松岩寺　武井　定光

平塚市仏教会には現在、七十九ヶ寺が加盟しており、内訳は以下の通りです。天台宗十五ヶ寺・真言宗十五ヶ寺・曹洞宗十四ヶ寺・浄土宗十三ヶ寺・日蓮宗十一ヶ寺・臨済宗六ヶ寺・真宗大谷派一ヶ寺・時宗一ヶ寺・曹洞宗系二ヶ寺・日蓮宗系一ヶ寺と、主要な宗派がほぼ揃っています。

市内は十一の地区に分けられており、それぞれの地区から理事が選出され、さらにその中から会長をはじめとする役員が選出されます。今年度、一部役員の改選があり、次の通りとなりました。

会　長　武井定光（松岩寺）
副会長　斎藤匡念（阿弥陀寺）
副会長　池田正顕（妙円寺）
顧　問　井澤孝一（福田寺）
理　事　守屋宣成（要法寺）
理　事　三荒弘道（善徳寺）
理　事　酒井仁成（正安寺）
理　事　澁谷堯俊（寶積寺）
理　事　山室良雄（龍源寺）
理　事　新美徳芳（慈眼寺）
理　事　栃堀眞英（浄心寺）
理　事　松岡晋嗣（金剛頂寺）
理事・書記長
吉田健一（浄信寺）

以上のメンバーにて、運営にあたらせていただきます。

当会の主な行事のひとつに、毎年秋に催される「湘南説法会」があります。この催しは、もともと戦没者慰霊祭として行われていたものを、遺族会のみならず、各寺院の檀信徒や一般の方々にもご参加いただけるよう、平和祈念法要および講演会という形に改めたものです。

昨年は、役員および近隣の僧侶十名程のご協力のもと法要を勤め、その後、お寺・仏像研究家「みほとけさん」を講師にお迎えし、「みほとけと仏像の賑やかな世界～湘南の仏像と日本の仏像～」と題した講演会を開催いたしました。

本年の「湘南説法会」は第二十三回を迎え、十一月十九日（水）にカルチャーボンズ平塚を会場に開催を予定しております。講師には、漢字一字で、その年の世相を切り取る「今年の漢字」を京都清水寺の舞台にて、揮毫されていることで知られる『清水寺 森清範貫主』をお迎えし、説法を頂戴する予定です。

新型コロナウイルス感染症等の流行によって、仏教の伝統的な信仰形態も急速に変化しました。地球環境の変化や国際的な紛争の長期化、政治・経済の不安定化など、私たちを取り巻く状況が大きく揺らぐ今、終戦八十年という節目の年にあたり、改めて「人としてのやすらぎ」について考える時間をお持ちいただければ幸いです。

【南足柄市仏教会】

珠明寺　橘川　宜道

南足柄市仏教会は前役員の任期満了に伴い、令和七年度より新役員で活動を行っております。会員寺院は各宗派合わせて二十七ヶ寺あり、二十七名程で構成されております。

当仏教会では、例年四月初旬に花祭り、十二月初旬に歳末助け合い托鉢を行っていました。

コロナ流行時に一時休止しておりましたが、近年はコロナも落ち着いてきたので、以前と同様に再開いたしました。

本年も四月初旬に、大雄山最乗寺において、市内観光協会並びに当仏教会主催のもと、開催されました。

当日は、市内在住の子供四十名程が稚児の衣裳を身に纏い参加さ

れ、盛大に行われました。
十二月も以前と同様に歳末助け合い托鉢を行いたいと思っております。
近年、宗教界を取り巻く環境は厳しいものがありますが、地域寺院と協力しながら、仏教活動、社会貢献を引き続き行っていきたいと思っております。

【横浜市都筑区仏教会】

観音寺　伊藤　浩雅

横浜市都筑区仏教会は、十八年務められた齋藤清紀前会長他、多くの人事異動があり、理事が一新しました。新会長は伊藤浩雅が務めることになりました。宜しくお願い申し上げます。
かつて都筑区は、子育て世帯など比較的若い区と言われてきましたが、一段落し、正に世代の交代が急増しております。身近なところでも、老々介護が他人事ではなくなってきています。社会の変化や、施主の葬儀を含めた供養、祭祀後継に対する意識の変化を遅ればせながら実感するところです。
各宗団共通の課題であり、区仏の活動の範囲で出来ることを思案中です。
都筑区仏教会では、市仏の定例事業の他、人形供養、仏前結婚式、史跡参拝・慰霊参拝研修を実施しております。各宗本山や、近年では東北慰霊・知覧等、本年は長崎慰霊に伺う予定です。また、区との防災提携締結にも、具体的に進めていく予定です。
都筑区仏教会役員・理事を紹介します。

会　長　観音寺　伊藤　浩雅
（高野山真言宗）
副会長　大善寺　石川　和弘
（浄土宗）
監　事　東漸寺　倉岡　弘叔
（高野山真言宗）
妙蓮寺　柳下　俊明
（日蓮宗）
理　事　真照寺　雲井　耀一
（真宗大谷派）
正覚寺　八木　廣純
（天台宗）
宗忠寺　夏見　裕貴
（浄土宗）
無量寺　豊田　眞彰
（高野山真言宗）
心行寺　安田　雄心
（浄土宗）
事務局　龍福寺　山崎　正教
（真言宗豊山派）
会　計　観音寺　西郊　良俊
（天台宗）
顧　問　宗忠寺　夏見　邦夫
（浄土宗）
福聚院　齋藤　清紀
（高野山真言宗）

【小田原市川東佛教会】

安樂院　片岡　秀明

◆活動報告◆

会員数が僅か五十四ヶ寺なので予算的にかなり厳しく、値上げもできず、どうにか活動しています。
令和七年度年間活動は年二回「タウンニュース・心の広報紙」発行で五十号までは多くのご協賛広告を頂き、タウンニュース紙一面で発行してまいりましたが、コロナ禍による影響で現在は年一回「コラム版」に縮小してタウンニュース紙に掲載しております。
会員寺院の研修として「第四十八回寺院巡り」として今年は六月二十七日横浜曹洞宗建功寺様、浄土宗蓮勝寺様を貸切バスでお参りさせていただきました。建功寺様も蓮勝寺様も山主様が直々



建功寺本堂前

にご法楽、お話しいただき、参加者一同感銘を受けて帰ってきました。中華街重慶飯店で参加者二十四名の和気藹藹とした昼食でした。

十一月七日第四十九回目になります「佛教講話会」は小田原三の丸ホールにて十三時三十分より開催されます。法話のテーマが「死ぬ時に後悔しない生き方」で東学寺笠龍桂師、続いて春光院石川邦雄師法話で始まり、間に相模蓮雅会の雅楽、愚尚庵吏珀氏の法舞が入り、最後に本典寺戸田教栄師の法話で終わります。県内でも「心の広報紙」と共に珍しい活動と自負しております。



蓮勝寺本堂内

十一月十九日に三佛教会、小田原市佛教会・嶺南（レイナン）佛教会・川東（セントウ）佛教会と十六社の葬儀社との申し合わせ会議を千代の本立寺様を会場にして催します。昨今の直葬、一日葬等々に始まり法式が簡略化されて問題点が多々あります。葬儀社の規模の大小と各寺院の檀家数により問題点は一本化できませんが忌憚なく意見や考えを述べていただきます。会議の内容は「通夜及び葬儀について」です。初めての試みです。



【泉区仏教会】

無量寺　小川　真弘

会員寺院十三ケ寺を擁する泉区仏教会は、小規模ながら宗派を超えたつながりも強く、昔から和やかに活動を行っております。

令和七年六月二十九日・三十日には熱海大観荘を会場として定期総会ならびに懇親会を催し、前年度事業報告と今年度事業計画等について協議を行いました。また、懇親会に於いては会員相互の親睦を深めるとともに、寺院を取り巻く様々な問題について意見を交わし、新たな知見を得る機会となりました。

近年の少子化に伴う檀家数の減少は泉区仏教会でも共通する悩みでありますが、寺院運営に協力してくれる檀家総代や世話人の高齢化、それに伴う世代交代も重要な課題となっております。会員寺院皆様も様々な対策を講じており、法事やお参りの際に積極的に子供たちと会話し、幼い頃から寺に親しんでもらい信頼関係を築くことで、将来の総代世話人の育成につながるとのご意見もありました。時間はかかるけれども、一番確実な対策であると感じました。

来る令和八年は泉区制四十周年、泉区が昭和六十一年に戸塚区から分区してちょうど四十年ということで、地域にとっても節目の年となっております。将来にわたり地域に根差して活動を続けていけるよう、会員寺院一同、今後も力を合わせていきたいと考えております。

【横浜市神奈川区仏教会】

金藏院　佐伯　隆範

横浜市神奈川区仏教会では、令和七年六月二十六日に総会を開催し新役員が選出されました。

三宝寺樋口芳宏会長の任期満了に伴い、会則にしたがって担当の教団宗派である真言宗智山派金藏院の佐伯隆範が会長を務めさせていただくこととなりました。

総会では新会長の承認にともない、副会長に普門寺大庭隆信師、東光寺小鷹正人師が就任いたしました。

今年度、神奈川区では区役所のご担当者とともに、大規模地震等の災害時における施設の提供等に関する規定に関して打ち合わせを進めていく予定です。

今後とも神奈川区仏教会をよろしくお願い申し上げます。

【金沢区佛教会】

光傳寺　平島　寿史

金沢区佛教会は現在、二十七ケ寺が加盟し活動している。

二年毎に会長他、役職の改選がある。此度会長職を受ける事となった、在家出身の浄土坊主で、還暦を迎えた平島寿史（じゅし）と云う者である。

私がまだ若い頃、カヌーを使って国内のみならず海外でも活動していた、今で云う所のアウトドアの先駆けのような事をしている人がおり、その方のエッセイや旅行記が好きで読んでいた。

それらの本に唯一無二のパートナーとして登場する犬がいる。子犬から育て、一緒にカヌーに乗るようになるのだが、川の流れが激しい所を下っている時など、恐ろしさからか頭を引っ込め、川面を見ないように振舞っていた為、主人や友人から「見ないからって無くなる訳じゃないのに」と微笑ましく笑われていた。

人生の折々で、このシーンを思い出していた。自己の事であったりそうでなかったり。

近年、又もこのシーンを度々思い描く。見ていないだけで、事実はそこにある。見ないままでまた今日を過ごすのか。

じりじりと過ごす時、恐らくそれは方策が思い付かないからである。やるべき事が見えれば、人間は動ける。

しかし今日も私はじりじりしているのである。しかし諦めてはいないのである。

尚、件（くだん）の犬は最後にはカヌーで沈（ちん）（ひっくり返ったりなどして船から落ちること）などすると、荷物を回収する主人と共に、一緒に下流に流されていく程になったという。

犬ですらこの境地に至る。

まだまだである。

【鎌倉仏教会】

光明寺　柴田　哲彦

◆心に沁みる言葉◆

今年は大阪で万博が開催され、国内外から見学者が訪れて大変な賑わいをみせている。

思えば同じく大阪で岡本太郎氏の太陽の塔で有名になった「エキスポ70」が開催された年であった。

その年二月、インド・ブタガヤ日本寺の国際仏教会館の落慶式が厳修され、その導師が鎌倉大仏殿住職で大正大学学長歴任者の佐藤密雄教授であった。

佐藤先生は原始仏教教団研究の第一人者として名を馳せた斯界の泰斗であった。式の後、仏跡を参拝し、その場でレクチャーがあるとされ、数名の若い学徒も同道、小衲もその一貫として参加した。

その参拝は四大仏跡更に霊鷲山・祇園精舎跡等々三週間余に及ぶ大旅行となった。

その中、釈尊入滅の地クシナガラ参拝は生涯忘れることが出来ない参拝となった。

それは佐藤先生から「南伝大蔵経」巻七所収『大般涅槃経』の説示を根拠とした入滅前後の生々しい有様と釈尊最後のお言葉の紹介と説明であったのである。その言葉とは

諸行は壊法なり、不放逸によりて精進せよ。これ如来最後の言なり。（南伝蔵経七）

私達人間は所謂凡夫。ついつい怠惰に流されてしまう。この釈尊最後の教説を心に刻み日常の訓戒としている日々である。



【横浜市仏教会】

正観寺　善浪　裕勝

常日頃、横浜市仏教会の活動にご理解、ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

令和七年五月二十九日開催されました第五十二回通常総会にて会長に再任されました善浪裕勝です。

五年目に入りますが、まだまだ若輩の身、宜しくご指導の程お願いいたします。各役員も副会長に西林寺大橋俊史師、光明寺北條祐英師、興禅寺市川憲章師、事務局長に隨流院西村健伸師、会計に龍松院近藤憲邦師、龍珠院永久良徳師をお願いし新体制にて各事業を進めてまいります。

さて、当会では、令和四年六月二十日、横浜市と『大規模地震等の災害時における施設の提供等の協力に関する協定』を締結いたしました。現在、区仏教会と区役所による話し合いが進められています。大阪大学大学院稲場圭信教授の調査によると、避難者受け入れの協定を結ぶ寺院、神社は全国で四千五百ヶ所以上と推定されると報告されています。今後も、各寺院が各々の寺院環境、条件を考慮しながら協議を進め、この活動が市内全域に広がるようご理解ご協力をお願い致します。

【涅槃会】

第五十一回釈尊涅槃会を、西区仏教会様担当で、二月に厳修いたします。

【奉讃部会】

秋の特別チャリティー公演「おさとり」～お釈迦さま成道会にちなみ～と題して、令和七年十一月二十七日（木）に横浜「にぎわい座」にて開催いたします。

【時局対策委員会】

現在、寺院を取り巻く課題や問題に関して様々な角度から検討協議を進めてまいります。

【渉外委員会】

会員寺院を対象とした研修会を企画しています。今回は、令和七年十月三十日（木）、産業貿易センタービル地下一階会議室にて開催いたします、「家族信託」「法定後見人、任意後見人」等の制度について講師に吉川晃史弁護士、松田直也司法書士をお招きして研修いたします。

【防災委員会】

大規模災害における寺院の役割として、区仏教会と区役所との防災協定締結に向けてお手伝いをしてまいります。

【デジタル委員会】

市仏ホームページをリニューアルし会員寺院の一覧の中に、グーグルマップのリンクを追加いたしました。また、新規開設をお考えの会員寺院の皆様に安価で操作のしやすいホームページ作りをご提案しています。

【横浜市港北区仏教会】

金蔵寺　内田　大恵

当会は、港北区内の四十四ヶ寺五十八名の会員で活動しています。

三月九日の総会において役員の交代があり、副会長に西方寺住職伊藤仁海師が決まりました。

今年も四月五日に当会の恒例行事「花まつり」を桜満開の金藏寺で執り行い、檀信徒や一般の方々にお参りいただきました。

灌仏会の法要を厳修し、法要後には昨年同様本堂内にて、ヴァイオリン・ヴィオラ・ピアノによるユニット【JEWEL】に献奏していただきました。

四〇〇枚のリーフレットが足らなくなり、堂内に入りきれないほど大盛況での開催となりました。『素晴らしい法要だった』『音楽が良かった』と嬉しい感想の声が多く聞かれました。

六月二十六日には港北区総務部総務課危機管理・地域防災担当係長を講師として金藏寺に招いて、地域防災に関する研修会を開催しました。

令和四年に、横浜市と横浜市仏教会が「大規模地震等の災害時における施設の提供等の協力に関する協定」を締結したことにより、当会でも港北区との協定調印に向

けて動き出そうとのことで行われました。

地域防災に関する港北区の状況を伺うとともに、横浜市との協定、さらに西区や瀬谷区、保土ヶ谷区と旭区の協定締結の状況を確認することができました。

先ずは協定書の提案書を事務局で作成し、全会員と協議をしていくことから始まりますが、早期の締結を目指して進めていきたいと思います。

これからも地域の仏教会としての活動や社会貢献を、会員諸師のご協力を仰ぎ邁進してまいります。

【伊勢原市仏教会】

広済寺　吉川　道源

◆気軽に会う大切さ

人が集まったり、お互いの往来すら許されなかったコロナ禍で感じたことがあります。研修や会議でなくても、ただふつうに会って、近況を知ることが実はそれだけでも有益な情報交換であり、学びの場であったと言うことです。

伊勢原市仏教会ではほぼ隔月で理事・支部長会があります。戦没者慰霊祭は、遺族会や市と共同でやっていましたが、遺族の皆様が高齢になり縮小化したため、令和六年より仏教会独自に行なうことになりました。私の自坊広済寺でお施餓鬼の形式でやっています。兼職されたり、介護や通院と行った出先からでも来やすいようにドレスコードなし。お檀家さんがお施餓鬼にくるあの感覚で、気軽に参加していただいています。

前日にリハーサルがあるとか宗派を超えて共通化しようとするから無理が出る。難しいことはしません。導師は私ですが、お経と木魚も兼務します。コロナ禍には多くのお寺がそうしていました。他宗派の皆さまの反応は「これが臨済宗のお経？」「新鮮だった」と何か残るものがあったようです。

秋の研修会は小田原で三十分で行ける箱根へ。イベントで講師の先生を呼ぶ時のノウハウ。お布施の基準を決めるべきか否か？お墓の場所を尋ねられても答えられるお寺とダメなお寺。一日葬。墓じまい。ご提示役は私ですが、いろんな対策が聞けるんですね。するとまたやりたいとなる。

次はなにかな？と朝の連続ドラマみたいに引っ張りがないと…楽しみながら、知見を広げていく。そんな伊勢原市仏教会です。そんな秋のイベントがまもなく始まります。



会員の皆さまへ

神奈川県仏教会で SNS 発信しています。
どうぞご登録をお願いいたします。

■ YouTube　「神奈川県仏教会チャンネル」
講演会・研修会の動画を配信しています。
https://www.youtube.com/channel/UCrAePx6MNlujzh8CBBT5StQ

■ Facebook「神奈川県仏教会」
会合の様子、行事の案内などを配信します。
https://www.facebook.com/profile.php?id=100085296513423

■ 神奈川県仏教会メールアドレス
お問い合わせ・ご連絡の際ご利用ください。
kanagawabuddhist@gmail.com

■ 神奈川県仏教会公式 LINE
檀信徒様向けに公式 LINE を始めました。
行事の案内を発信する予定です。
https://lin.ee/F24z6pN

神奈川県仏教会主催 成道会開催

令和六年十一月七日（木）令和六年度 神奈川県仏教会主催成道会が、佐藤功岳会長導師のもと当会役員他出仕にて執り行われました。四十名ものご随喜も頂き、導師が厳かに奉祝文が読み上げられ、読経とともに一同焼香、本会関係の諸大徳のご遷化並びに関係各霊位に対して黙祷が捧げられました。

その後、場を移し「読経するということ」～仏教研究者の視点から～と題して記念講演が行われました。久保山光明寺住職 仏教学博士 石田一裕先生にご講師の労をとって頂きました。先生のご講義を要約させていただきます。

「読経するということ」 ～仏教研究者の視点から～

葬儀やお通夜におけるお経の役割とその意味についてのお話されました。先生はお経が具体的な意味を持たない方が良いと考えており、その理由として、意味があると人々の頭がその意味に囚われてしまうことを挙げました。

お経の声が亡くなった人と生きている人々を繋ぐ役割を果たし、その響きが遺族にとって慰めとなると述べました。また、葬儀の場での声の響きが参列者にとっても重要であり、亡くなった人との繋がりを再構築する手助けとなると強調しました。

さらに、先生は、葬儀の場でお経を読むことが、亡くなった人と生きている人々の間の繋がりを保つために重要であると述べました。お経の意味がわからない方が良い理由として、意味があると人々の頭がその意味に囚われてしまい、亡くなった人との繋がりを感じることが難しくなると説明し





☆講師ご紹介　◎ 石田　一裕（いしだ　いちゆう）

1981 年北海道生まれ。浄土宗総合研究所研究員、大正大学非常勤講師。
高校卒業後、元全日本仏教会理事長・白幡憲佑氏に弟子入り。久保山光明寺（神奈川）にて修行。大正大学大学院仏教学研究科博士課程修了、博士（仏教学）。インド部派仏教研究を専門としつつ、日本における経典解釈論からペット供養の基礎的研究などの現代的課題まで幅広い研究を行っている。監修書に『マンガでわかる日本仏教 13 宗派』（誠文堂新光社）などがある。

※講演は YouTube にて視聴できます
https://youtu.be/Eh1r_GAhvVc?si=S4gDfQ8kLQH6LII5

ました。

最終的に、葬儀は生と死を結びつける重要な儀式であり、仏教の教えを深く実感する場であると結論付けました。先生は、葬儀の場でお経を読むことが、亡くなった人と生きている人々の間の繋がりを保つために重要であると述べました。また、葬儀の場での声の響きが参列者にとっても重要であり、亡くなった人との繋がりを再構築する手助けとなると強調しました。

この講演会は、多くの参加者にとって、葬儀の意義を再認識する貴重な機会となりました。



『寺院』を狙った侵入窃盗が多発しています！



神奈川県警察より、寺院や寺院に併設した事務所や住宅を狙って現金や金庫が盗まれる被害が発生しているため、防犯対策を見直すよう注意喚起がされています。

《防犯対策のポイント》

◎玄関・窓



無施錠の玄関や窓から侵入のほか、窓を割られる事案も多く発生しています。施錠を徹底し、窓には補助錠を活用しましょう。

◎金銭管理



現金は目のつく場所や引き出しには置いたままにせず、鍵のかかる場所に保管するようにしましょう。また金庫の鍵は事務所等に保管することなく、管理者が保管するようにしましょう。

◎その他の防犯対策



- 防犯カメラや警報装置などの点検や設置。
- 「防犯カメラ作動中」などと記載して掲示。
- 防犯性能の高い鍵や防犯ガラスに交換。
- 建物周辺の環境を整備して侵入の足場となるものを置かない。
- 不審者（車）を発見した際は速やかに警察へ通報する。

特別会費
賛助寺院芳名録
（令和六年度分・順不同）

特別会費のご賛助ご協力誠にありがとうございます。ここにご芳名を録し、心より感謝申し上げます。

今後ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

十万円	川崎区	平間寺	殿
五万円	鶴見区	總持寺	殿
〃	鎌倉市	高徳院	殿
〃	南足柄市	最乗寺	殿
〃	神奈川区	観音寺	殿
三万円	泉区	本興寺	殿
〃	鎌倉市	建長寺	殿
〃	鎌倉市	円覚寺	殿
〃	〃	本覚寺	殿
〃	〃	妙本寺	殿
〃	〃	光明寺	殿
〃	藤沢市	清浄光寺	殿
〃	鎌倉市	長谷寺	殿
二万円	中区	西有寺	殿
〃	〃	大圓寺	殿
〃	西区	勧行寺	殿
〃	小田原市	圓福寺	殿
〃	金沢区	龍華寺	殿
〃	藤沢市	龍口寺	殿
二万円	南区	光明寺	殿
〃	宮前区	泉福寺	殿
〃	港北区	金藏寺	殿
〃	〃	雲松院	殿
〃	中区	妙香寺	殿
〃	横須賀市	良長院	殿
〃	金沢区	東光禅寺	殿
〃	西区	林光寺	殿
〃	西区	願成寺	殿
〃	都筑区	福聚院	殿
〃	神奈川区	金蔵院	殿
〃	磯子区	金蔵院	殿
〃	藤沢市	宗賢院	殿
〃	横須賀市	東光寺	殿
〃	西区	延命院	殿
〃	中区	多聞院	殿
〃	南区	天池庵	殿
〃	都筑区	宗忠寺	殿
〃	南区	新善光寺	殿
〃	〃	増徳院	殿
〃	栄区	般若院	殿
〃	中区	蓮光寺	殿
〃	南区	大光院	殿
〃	川崎区	醫王寺	殿
〃	保土ヶ谷区	福聚寺	殿
〃	南区	玉泉寺	殿

《訃報》

常任顧問
圓福寺住職　木内雍明師
令和七年七月十七日
世寿九十一歳にて遷化

役員名簿

総裁	石附周行	
常任顧問	本間孝康	
〃	都築哲信	
〃	木内雍明	
〃	和田大雅	
会長	佐藤功岳	
副会長	菅原節生	
〃	山本昭弘	
〃	阿川文叡	
〃	鈴木嘉昭	
常務理事	友繁照純	
〃	中島輝昌	
〃	本多康興	
〃	三浦公正	
〃	守長尚文	
〃	須藤大惠	
〃	善浪裕勝	
〃	安藤佑真	
〃	鹿野融完	
〃	佐藤浩之	
〃	吉田顕嶺	
〃	柴田哲彦	
〃	片岡秀明	
〃	宮本恵信	
〃	吉川道源	
〃	武井定光	
監事	吉水智栄	
〃	宮山光男	
事務局長	横溝常之	
会計	西山修浩	
事務次長	大森太朗	
事務局	大橋雄人	
〃	豊田眞彰	
〃	和田弘雅	
〃	原宗久	
〃	村上公一	
〃	池重忠	

●編集後記●

『佛教神奈川』第80号をお届けいたします。誌面にも掲載いたしましたが、寺院を狙った窃盗が全国的に増加傾向にあるようです。

本年初めにも全日本仏教会を通じて高尾警察署から各宗派に窃盗事件にかかる協力依頼がありました。お寺はさまざまな方がお参りされますが、お迎えの心を持ちつつ、防犯意識を新たにしていただければとおもいます。

（編集担当　大橋 雄人）

【事務局】寶泉寺・横溝　常之
電　話　〇四五(五二一)四〇五八
ＦＡＸ　〇四五(五二一)四〇五九